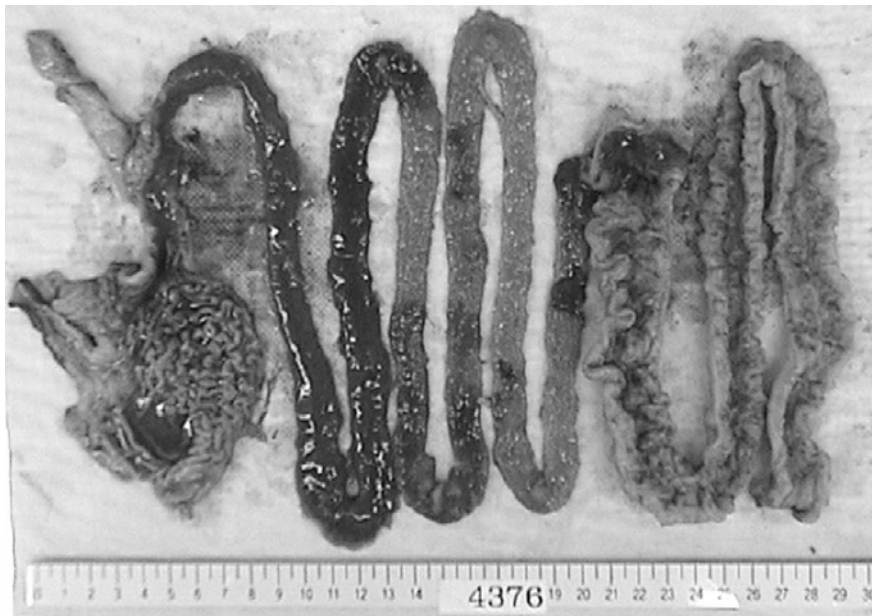
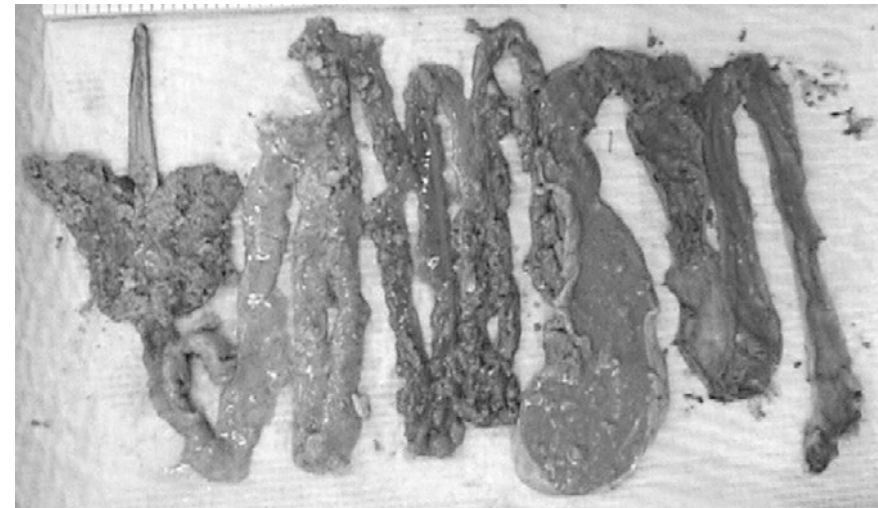


実験動物を用いたO157;SLTトキソイドの効果

1. SLTリポソームワクチン免疫により、マウスおよびサルは顕著な抗体価の上昇を確認した。
2. 免疫マウスでは毒素または生菌の経胃攻撃による発症防御(致死)を確認した。
3. 免疫サルでは、毒素経口攻撃による発症防御(出血性下痢、致死)を確認した。



非ワクチン投与サルは毒素攻撃により約48時間後に死亡し、胃・腸管に著しい出血性病変が認められた。



ワクチン投与サルは毒素攻撃後、臨床的、解剖学的、病理組織学的に毒素による変化は認められない。